

中期経営計画

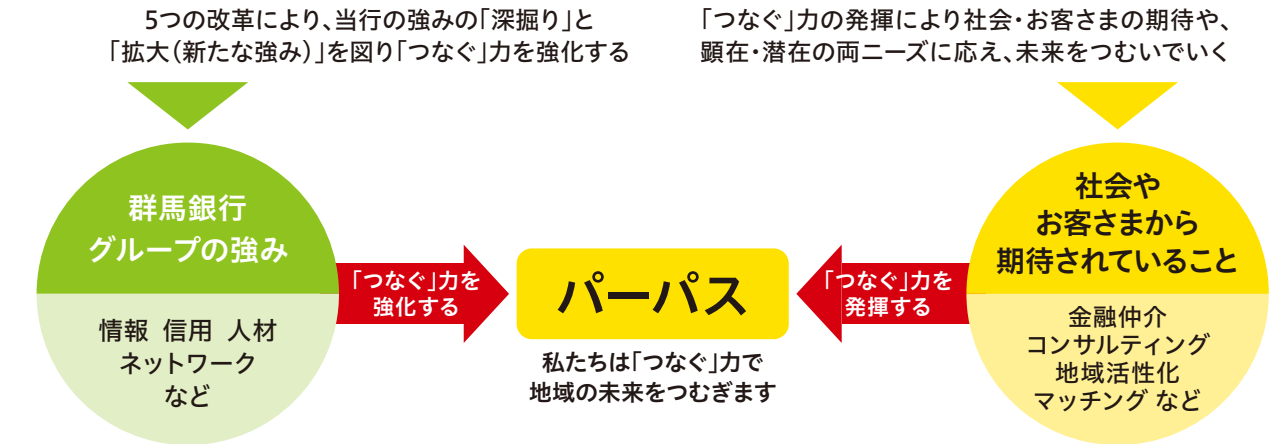
中期経営計画「Innovation for “Purpose”」

2022 年 4 月～ 2025 年 3 月を計画期間とする中期経営計画「Innovation for “Purpose”」の最終年度を迎えました。本中計は 2021 年 11 月に制定したパーパス「私たちは『つなぐ』力で 地域の未来をつむぎます」を基軸とした経営に取り組むことを明確にし、前中計で掲げてきたイノベーションを加速することを目標としています。

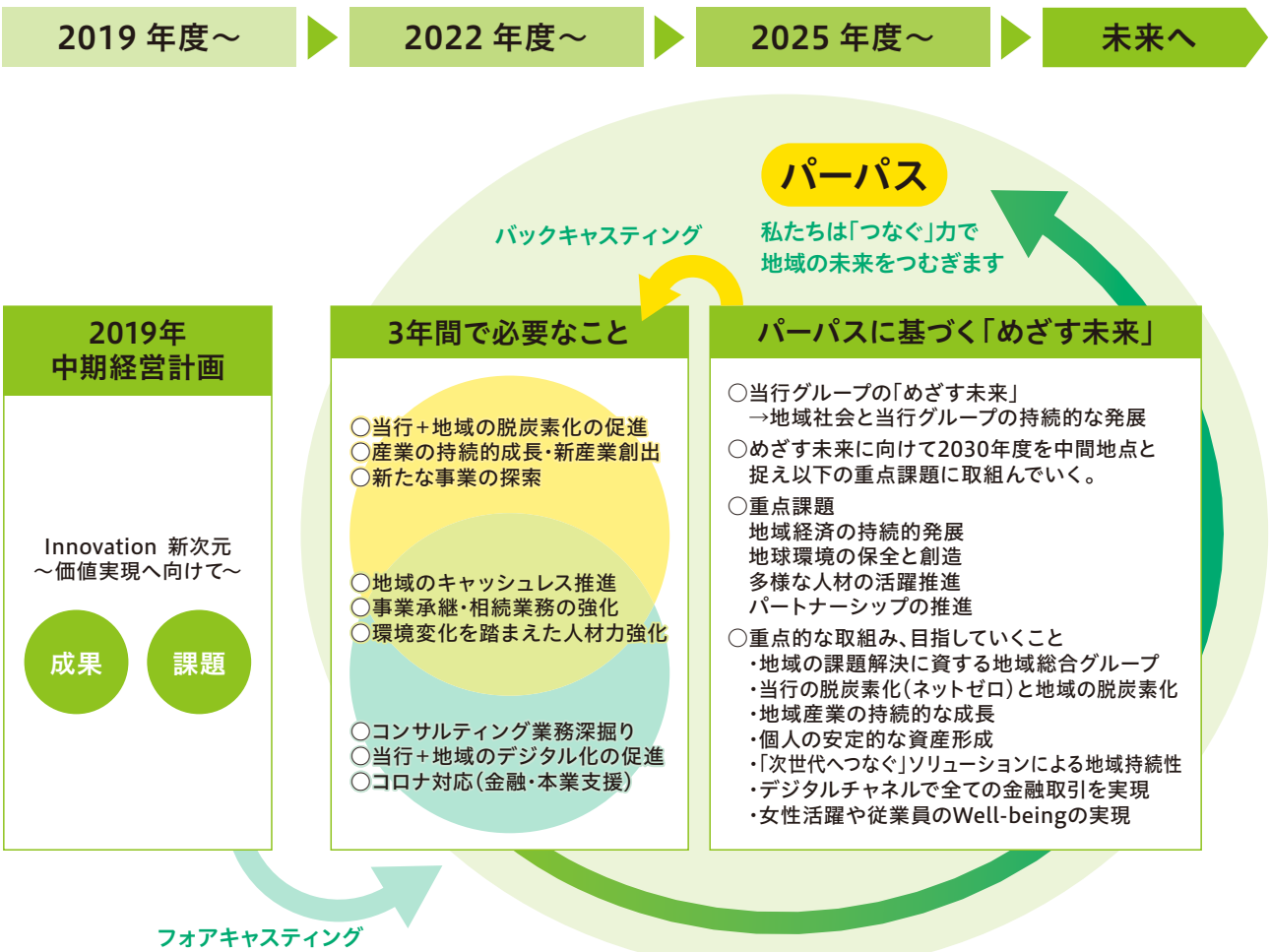
当行グループはパーパスに基づき社会やお客さまの課題解決（社会的価値）に積極的に取り組み、結果として適正な利益を上げて（経済的価値）いくことで、持続的に成長していくことを目指しています。

本計画では、デジタルを活用しつつ、5 つの改革を実施することで「つなぐ」力を強化するとともに、社会やお客さまの課題解決に資する投融資やコンサルティング活動を通じて「つなぐ」力を発揮することに取組んでおります。

基本方針	① 「つなぐ・つむぐ」の基盤となるデジタル戦略の遂行…P62		
	② 5つの改革による「つなぐ」力の強化	③ 「つなぐ」力の発揮により 未来を「つむぐ」	
戦略テーマ	● 過程や自律性を重視した営業プロセス改革 — P60	● 地域のサステナビリティへの積極関与などSDGs・ESGへの取組み — P32	
	● 生産性向上に資する業務プロセス改革 — P60	● 企業へのコロナを踏まえた金融・本業・事業承継支援 — P42	
	● 環境の変化やお客さまのニーズを捉えたチャネル改革 — P61	● 個人のお客さま一人ひとりに寄り添ったコンサルティング — P44	
	● 創造力発揮に向けた人材改革 — P54	● グループ総合力による新事業の探索と既存事業の深掘り — P48	
	● 強みの強化・補完を目的とした外部連携改革 — P52	● 当行の経営体質強化による「つなぐ」力の持続的発揮 — P64	



計数計画…計画最終年度（2025 年 3 月期）における連結計数目標		
項目	目標	実績（2024/3）
コア業務純益（投信解約損益除き）	450 億円	454 億円
非金利業務利益	250 億円	242 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	300 億円	311 億円
グループ会社最終利益	40 億円	29 億円
RORA	0.7%以上	0.81%
OHR	55%程度	53.4%
ROE	5%以上	5.7%
総自己資本比率	13.5%以上	14.86%



計数計画…つなぐ KPI ※1			
つなぐ KPI	項目	目標	実績（2024/3）
貸し手と借り手を「つなぐ」	サステナブルファイナンス実行額（3 年間累計）	8,000 億円※2	6,809 億円（2 年間累計）
	住宅ローン実行額（3 年間累計）	4,000 億円	2,369 億円（2 年間累計）
	無担保消費者金融残高（2025/3 末時点）	750 億円	713 億円
お客さまを「つなぐ」	ビジネスマッチング成約件数（3 年間累積）	3,000 件	2,099 件（2 年間累積）
企業と人を「つなぐ」	人材紹介成約件数（3 年間累計）	200 件	182 件（2 年間累計）
お客さまの未来に資産を「つなぐ」	預かり金融資産残高（2025/3 末連結）	1 兆 2,500 億円	1 兆 1,542 億円
	うち投資信託残高（2025/3 末連結）	4,000 億円	4,114 億円
次世代へ「つなぐ」	事業承継課題解決件数（3 年間累積）	600 件	774 件（2 年間累積）
	相続関連業務成約件数（3 年間累積）	1,000 件	648 件（2 年間累積）
パーパスに基づく営業活動による主要計数	貸出金利益（2025/3 期）	545 億円	558 億円
	法人役務収入（2025/3 期連結）	65 億円	75 億円
	預かり金融資産等収入（2025/3 期連結）	90 億円	76 億円

※1 パーパスの実現および当行の利益目標の双方を達成するために必要な具体的計数計画を「つなぐ KPI」として設定。
※2 2023 年 9 月に 5,000 億円から上方修正。

1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤